

会 議 録

会議名	令和5年度 第3回知立市総合公共交通会議
日 時	令和6年3月27日(水) 午前10時00分～11時40分
場 所	知立市市役所 第2・3会議室
次 第	1. 開会 2. あいさつ 3 報告事項 (1) ミニバスの利用状況について 【資料1-1～1-2】 (2) ミニバスに掲載する広告について 【資料2】 4. 協議事項 (1) 令和6年度地域公共交通事業スケジュールについて 【資料3】 (2) 知立市地域公共交通網形成計画への追記(案)について 【資料4-1～4-2】 5. その他 6. 閉会
資 料	・ 次第、委員名簿、座席表、ミニバスガイド ・ 事前配布会議資料
出席者 《 》は 代理出席者	【委員】 山崎委員 ((公財)豊田都市交通研究所主幹研究員) 小林《徳田》委員 ((公社)愛知県バス協会専務理事) 潮田委員 (愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長) 上原委員 (名鉄バス株式会社運行本部交通企画官) 花村《神谷》委員 (名古屋鉄道(株)地域活性化推進本部交通サービス担当課長) 永井《神野》委員 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事) 磯貝委員 (知立市身体障害者福祉協議会副会長) 三浦委員 (知立老人クラブ連合会会長) 岩城委員 (知立市商工会女性部長) 竹山委員 (公募市民) 山下委員 (公募市民) 宮川《堺》委員 (中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官) 石屋《名倉》委員 (愛知県都市・交通局交通対策課担当課長) 高木委員 (知立市都市整備部長) 近藤委員 (知立市土木課長)
欠 席 者	古川委員 (愛知県安城警察署交通課長) 渡辺委員 (愛知県知立建設事務所維持管理課長)
内容(概要)	
1. 開会	
(司会)	皆さんおはようございます。定刻前ではございますが、本日参加の皆さんお揃いになりましたので、ただいまより令和5年度第3回知立市総合公共交通会議を開催させていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の会議出席者は15名で、全委員17名の過半数を超えておりますので会議は成立していること

を報告いたします。また本日は傍聴者の方も見えますので、ご了承いただきたいと思
います。
それでは、会議に入ります前に資料の確認をお願いいたします。本日配布させていただきました「会議次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、「ミニバスガイド」、名古屋鉄道様提供の「CentX」のチラシ」2枚、「三河知立駅移設開業のチラシ」でございます。あと、事前にお送りしております「令和5年度第3回知立市総合公共交通会議資料」でございます。皆さまお手元にありますでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは、はじめに市長よりご挨拶申し上げます。

2. あいさつ

(市長)

本日は大変お忙しい中、第3回知立市公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。今日、資料として配布させていただいております「三河知立駅移設開業のチラシ」です。お陰様で3月16日から移設開業していただいております。その開業を記念いたしまして、様々なイベント等をさせていただいております。とりわけ、先週土曜日は、竜北中学校の体育館で記念式典をさせていただきました。大村知事、高崎名鉄社長様にご出席いただき、竜北中学校の和太鼓部の子どもたち、吹奏楽部の子どもたちに演奏等をしていただき、子どもたちからは、これからは私たち僕たちが三河知立駅移設を機にまちづくりを行うメッセージをいただき、心強く感じました。この事業も鉄道高架事業、100年に一度のまちづくりとしてさせていただいております。名鉄知立駅付近の鉄道高架事業の一環の事業でございます。鉄道高架事業の進捗状況でありますけれども、ご案内のようにこの事業は名古屋本線と名鉄三河線、総延長4.3kmを高架化していく、それにより踏切を10個無くして駅周辺の一体的まちづくりをやっていく、そして経済効果、税収効果を出していく、そのような事業でございます。昨年3月には名古屋本線の豊橋方面が2階に切り替わっておりますので、名古屋本線においては踏切の遮断時間が大きく短くなっております。来年になりますと、名古屋本線の名古屋方面が2階に切り替わり、そして令和9年になりますと、三河線の碧南、刈谷、豊田方面の三河線全線が4階に切り替わります。それで鉄道高架事業が終わるわけでございます。4階が三河線、3階が乗り換え階、2階が名古屋本線と4階構造で非常に高い駅舎になってまいります。今、駅の構内の乗り降りが工事中で複雑になっておりますが、完成いたしますとエレベータ、エスカレータ等でスムーズになってまいりますので、今しばらくのご容赦をお許し賜りたいと思っております。併せてですね、知立駅は1日のご利用される方は乗り換え3万人、乗り降り3万人、6万人の方がご利用されています。降りていただいて知立でいろいろな活動をしていただく、そんな仕掛けづくりを進めているところであります。例えば駅前に人工芝を敷いて仮設のイベント広場であります。駅前公園、堀切公園を今後作っていくわけではありますが、そこでいろいろな文化活動、スポーツ活動などをしていただくなどを考えておりますので、本日、委員の皆様方も様々な活動等をしていただくことを期待しております。こうした中知立駅周辺で工事をしている影響で、本日の新聞をご覧になった方もお見えかと思っておりますが、住宅地、商業地の伸び率が、住宅地は愛知県内で2位、商業地は1位と非常に伸び率が高くなっております。知立は今非常に求められている期待されているまちと改めて感じるところであります。そうした中で本日の公共交通の位置付けがますます重要になってくると考えております。これから高齢社会がますます進んでいく、また脱炭素というニーズもあ

	りまして、そうした中で公共交通をこれからもしっかり進めていくことが、かなり大きな意味があることと考えております。そうした中で委員の皆様方におかれましてはそれぞれのお立場から知立市においてより良い公共交通の環境ができていきますように力強く支えていただきたいと思います。それではここでご無礼いたしますけれども、よろしくお願いいたします。
(司会)	ここで市長は退席させていただきます。 ここで委員の皆様のご紹介をさせていただくところでございますが、配布した名簿及び座席表にて代えさせていただきますので、ご了承いただきたいと思いますとおもいます。
(司会)	本日は報告事項2件、協議事項2件につきまして、ご審議をお願いいたします。市民の皆様にとって、より便利な公共交通ができるように、さらに協議を重ねていきたいと考えておりますので、委員の皆様方にはご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。それではここからの議事進行は議長の山崎会長に交代させていただきます。山崎会長よろしくお願いいたします。
3. 報告事項	
(会長)	本会の会長をさせていただいております、公益財団法人 豊田都市交通研究所の山崎でございます。今日もよろしくお願いいたします。今市長からお話があったように、知立は変わりつつある、中心部が知立駅中心に変わりつつあるところです。私のように豊田市に住んでいても、豊田市の南の方に住んでいることもあって、それから実家が西尾市ということもあって、知立駅への期待はすごく大きい、楽しみにしているところであります。いつも三河知立駅で降りて市役所まで歩いてくるんですけど、初めて新しい駅を使いました。以前から市の事務局の方に「遠くなりますよ」と脅されていたんですけど、今日歩いてみたら意外と近くて、1号線を地下道でくぐって、そのあと名鉄本線を跨線橋で越えて、そうするとすぐに明治用水の遊歩道に出るんですね。だからもうそ一本道で、自動車の走る道路と完全に分離された歩行者専用の道をここまで歩いて来られる、なかなか快適で楽しいと思えました。まち歩きが楽しくなるようなまちにこれから知立も更によくなっていくことを期待しております。 では会議に入っていきたいと思えます。座って進行させていただきます。 お手元の次第です。先程課長からお話がありましたように、報告事項が2件、協議事項が2件となっています。まずは報告いただく内容として、ミニバスの利用状況について資料1-1・1-2です。事務局から説明をお願いします。
(事務局)	【資料1-1・1-2に基づき説明】
(会長)	ただいまご説明いただきましたミニバスの利用状況に関しまして、ご意見ご質問あればお願いします。いかがでしょうか。よろしいですか。報告いただいたとおり、コロナ禍前の8割まで戻ってきている。9割ぐらい戻ってきて、路線によってはコロナ前と同程度となり、非常に喜ばしいこととあります。ミニバスの利用者の方から何か声が寄せられているなど、何か今問題になっていることが無いですかね。
(委員)	いつも利用される方が乗り降りする際のスロープがないのでつけてほしいと言われたのですが。
(事務局)	全車スロープは装備しているので、現状は無い車両はないです。

(委員)	山屋敷の方ですけど、乗り降りするのに大変だから、どうなっているのかと。
(事務局)	1コースのバスはポンチョではなくリエッセという車両で、後ほど話をさせていただきますけど、車両購入をしましてポンチョに代わります。そちらはスロープ装備になります。
(委員)	いつぐらいからなりますか。連絡をしなければいけないので。
(事務局)	納車まで期間がありますが、現状の予定では6月納車で、走り出しが7月になります。
(会長)	はい。ありがとうございます。車両を計画的に知立市は更新しているので、古い車両だとどうしてもこのようにステップがなかったりします。 ではよろしいですかね。それでは報告事項2番目、「ミニバスに掲載する広告について」ということで、資料2-1・2-2の説明をお願いします。
(事務局)	【資料2-1・2-2に基づき説明】
(会長)	ただいまご説明いただきましたミニバスに掲載します広告について、ご意見があればお願いします。よろしいですか。 新規で応募していただいた広告掲載ということで、これもまた喜ばしいことだと思います。あと資料はないですが口頭で報告いただきましたデジタルサイネージに関して、以前のこの会議で確かバスのPRなど動画を使って流すようなことの提案があったと思いますがそのあたり何か動きはありますか。
(事務局)	今、バスの乗り方講座をデジタルサイネージの行政枠が空いている時には、流すようにしていますが、現状、大変好評で行政枠が常に一杯であります。各課の新しい情報を配信する方法として定着してきたと認識しています。
(会長)	はい。ありがとうございます。何かありますか。よろしいですか。
(委員)	最近、簡単だからミニバス乗って、と言って3人くらいで乗ったのだが、この紙取っているの？いけないの？と言っておろおろしてしまって、皆さん知らないのかなと感じました。もう少し皆さんに分かるように、説明とかの計画はあるのでしょうか。
(事務局)	バスの乗り方ですけど、実際はバスに乗ってから見るものになってしまう。まちづくり課の方で講座を受けていることもあり、その中でミニバスの乗り方、概要など出張講座の希望があればさせていただき取り組みをしていますので、例えば町内会などでご希望があればそこにお邪魔して説明をさせていただくとか、各種団体様からご希望がありましたらそこに出向いてご説明させていただくとかやらせていただいています。
(会長)	そうですね。公共交通の乗り方の作法などは地域によって全然違って、先日、富山で学会の会合があって、富山は路面電車がありまして、共通乗車券マナカも使えるのだが、タッチする場所が違う仕組みになっていて、地元の人たちは地元のICカードをタッチして利用していて、料金の割引もあるんですが、共通乗車券を使う人は違う場所にタッチしなければいけない。それが分からなくて地元の人と同じ場所にタッチしたら使えなかった。なかなか難しい所もあつたりします。以前もお話したと思いますが、豊田市の下山で私がやった豊田高専の学生と一緒に、高齢者を集めてバスの乗り方の説明をしました。説明するだけでなく、実施にマナカをプレゼントして、学生がアテンドしながら下山から豊田の中心部まで遊びに連れていくというようなイベントを行った。結構その後バスを使う人が増えてきて、知立市は愛知大学と連携提携を結んでいましたよね。何か機会があれば高齢者にとっては孫、ひ孫に近い学生に説明してもらえば、楽しい企画になるのではと思います。

(委員)	バスと一緒に乗った方が高齢者でパスケースを持っていなかったが、その方は見るからに無料の年齢に見えるので運転手に無料で良いか聞いてみたら、それが無ければ100円払ってもらわないと言われた。ただ、とても楽しかったらしくまた乗ろうかなと言っていました。
(事務局)	高齢者の無料の仕組みなどの説明も念入りに広報してもらえばと思います。
(委員)	ミニバスの乗り方の話に関連してですが、いろいろなところの公共交通会議に出させていただいています。参考までに東浦町で、公共交通乗車マニュアルみたいな、公共交通全般の乗り方ガイドという冊子を作って、それを全戸に配布する事業をやっています。その中にコミュニティバスの乗り方を写真付きで掲載していて、私どもの会社も協力して、タクシーの乗り場とかタクシーの乗り方、費用の清算の仕方とか、通常の路線バスの乗り方だとか東浦町のコミュニティバスの回数券が路線バスだとか、タクシーにも使えたりするので、そういったアナウンスする冊子を作って、公共交通の活性化につなげたいという取り組みを行っている。知立市も検討いただければと思います。
(会長)	はい。ありがとうございます。事務局よろしくお願いします。
(事務局)	大変ありがたいご意見だと思いました。現状ミニバスの乗り方も、文字で表現したものはあるが、他の公共交通機関の乗り場であったり、乗り方を写真付きでというのが一番分かりやすいかなと思うので、どのような形で展開するかを含めて前向きに検討させていただきたいと思います。
(委員)	先程から出ている案内表示などの分かりやすさということで、先日NHKで認知症のことをやっていて、東京都の話ですが、認知症の人がサポーターとともに町を練り歩いて、この表示は見にくいとか、この案内は分かりにくいとかスーパーとか図書館とかを実際に歩いてみて改善点を探していく取り組みをされていたので、認知症の人だけではなくてバリアフリーの観点で困っている人たちやバスの乗り方に困っている人とかいろいろあると思うので、そういうのを参考にしてみるのはいかがでしょうかと思いました。
(会長)	ありがとうございました。都市計画の取り組みと併せて行っていくというご意見です。
(事務局)	知立市では福祉の方の計画や都市計画のユニバーサルデザインについての取り決めがありますので、そちらと合わせてより安全なバス停であったりとか、表示だったりというのは意識して進めております。
(会長)	委員が紹介してくれた事例などは、当事者じゃないと分からないような問題があるので、当事者と一緒にまち歩きをするイベントも効果があるのかなと思います。
(委員)	身障会の役員会での話で、目が不自由な方からバス停の丸い所をもう少し分かりやすくしてほしいと意見がありました。色などを付けて濃くするなど分かりやすくしてくれればありがたい。
(事務局)	現状のバス停の丸い箇所を丸カンと言っていますが、白地に黒字で名称があり、その周りは緑色となっています。安城市のアンクルバスではコース別の色になっており、そういった意味では分かりやすいとは思いますが、知立市のバス停だと複数のコースが止まる場所もあり、いくつもバス停を立てるのは難しいためそういった問題点もありますが、いただいたご意見をこちらでも積極的に検討していきたいと思っています。
(会長)	事務局からの説明のとおりですが、見易さは大事なことです。バス停の表示板が色あせてきているところも随時交換していくこととは思いますが、豊田市ではおいでんバスのオレ

	ンジ色が剥げてしまっているものを見かけます。その辺も気を付けて、お金がかかる話になりますが、対応いただきたいと思います。
(委員)	今の話で、利用促進ではないですが乗り方等の啓蒙の関係も含めて知立市は夏休みには中学生の子どもたちに無料で利用していただいているということで、モデルコースを以前は設定されて使いやすさをPRしていますが、そういう時に家族とか、祖父祖母とか一緒に行った際にはその人たちも、家族で移動の時など、バスに乗って一旦お試ししていただくという観点から、同乗だったら全員無料など、きっかけを作ると100円だけ人間無料となるとのっかる人も多いので、そのあたり検討されると、もしくは中学生が無料の時期に、家族で乗ってもらえるようなイベント等を検討していただければと思います。
(会長)	はい。ありがとうございます。良い意見だと思います。今まで継続して行っていたいる中学生無料事業の施策ですけれど、少し捻ってより利用者を増やすということで、事務局で一度検討していただきたいと思います。今の提案はどうですか。市の負担が出てしまうかもしれませんが、利用が増えるという期待ができる場所ですが。
(事務局)	以前、委員からも同じ意見をいただいております。その意見をいただいて何かできないかと考えている最中です。確かに市の負担も増えるかもしれませんが、乗っていただくための広告費とすればそこまで痛手ではないかと思っております。常にしてしまうと市としては痛手になりますので、期間を限って同乗キャンペーン等を実施するなど考えられると思っております。来年度中にどのような形で実施できるか検討していきたいと思っております。
(委員)	ミニバスデーみたいな、この日はミニバスに乗ろうみたいなキャンペーンを設けてみたら良いかなと思います。暇なときに1日ミニバスに乗ってもよいかなという意見も聞かれました。でも知立駅で休憩が30分ありますのでその時間何しようと言っていました。知立駅まで乗って、またそのまま同じコースで次の便までの間、休憩時間が30分あることも皆さん知らないと思います。ずっとグルグル回っているのかなと勘違いされている方が多いので、結局知らない方が多いのかなという印象があります。
(会長)	そうですね。そのあたりも乗り方教室で乗り方の説明の中にあっても良いかもしれませんね。ミニバスデーをやっていただけるといいと思います。
(会長)	それでは協議事項1です。まずは令和6年度地域公共交通事業スケジュールについて資料3の説明をお願いします。
(事務局)	【資料3に基づき説明】
(会長)	ただ今ご説明いただきました、令和6年度地域公共交通事業スケジュールについて、ご意見ご質問があればお願いします。いかがでしょうか。
(委員)	夏休み中学生乗車無料キャンペーンと知立こどもフェスティバルについてですが、10月に今までは福祉健康まつりがありましたけど、それと障がい者団体が行う草の根フェスティバルがありまして、それが合体することになりますので、その時も対応していただけたらありがたいと思います。小さい子どもたちを連れた親子が多いし、草の根では障がい者や知的障がいのある親子など結構お見えになるので、ミニバス無料などのちょっとしたキャンペーンを考えていただければありがたいです。
(会長)	はい。ありがとうございます。子どもフェスティバルだけではなくて、福祉系のイベントでもぜひバスの乗り方など。事務局は検討の余地はありますか。
(事務局)	大変ありがたいご提案かと思っております。一つ補足ですが、運賃につきまして障がい者の方で

	<p>手帳をお持ちの方であれば無料となります。改めて周知が必要ということであればイベント等に参加してご案内ができればと思います。付き添いの方も一人は無料となります。知立市の場合は市外の方でも無料となりますので、そういったこともご案内できればと思います。今ご提案のありましたイベント時の会場の規模であったりとか、ブースだったりとか決められている部分があると思いますので、ミニバスがどれくらいの規模で入れるかどうかも含めて確認させていただきたいと思います。</p>
(会長)	<p>はい。ありがとうございます。なかなか計画のタイミングもありますので、やれるような状況であれば良いと思います。</p> <p>名鉄バスさんはそう言った場合の対応はしていただけるのでしょうか。こどもフェスティバルは車両を持ち込んでいただいたと思いますが。</p>
(委員)	<p>そうですね。10月は繁忙期になりますので、帰って社内の状況を確認しないと。ダブルブッキングしてはいけないので。知立市からお話しただければ検討させていただきます。</p>
(会長)	<p>来年度出来なくても再来年度とか長い目で見てやれるといいかなと思います。一度ご検討いただければと思います。</p>
(委員)	<p>令和6年度の公共交通の認知度向上に向けた取り組みの二つ目のミニバスに関する販促物の作成と配布で、集めて市役所のまちづくり課に提出というのはなかなかハードルが高いのではないかと思います。私であれば市役所、平日に時間制限もあるし、なかなかバス乗ってまでしてのりものカードをもらいたいという人はどれくらいいるのか正直なところで、もしそれをするのであれば、市役所という制限ではなくて、市役所も含めアピタ、ドミー、福祉体育館、八橋かきつばた園とか、お店側や施設側としても来てほしいみたいなどの窓口をお願いして、スタンプカードの目的地にするなどして、のりものカードを配布した方が参加する人が増えるのではないかなと個人的に思います。</p>
(会長)	<p>はい。ありがとうございます。良い意見をいただきました。どうですか。そのあたり検討の余地はありますか。</p>
(事務局)	<p>ご意見ありがとうございます。全く同感でございます。なかなかカードだけで人は動いてくれないというのが事務局としても思っています。特にのりものカードにつきましては配布している市町村によってはバスに乗ればそのままもらえるというようなことをやっているところもあります。「知立ではそこまでしないともらえないのか」というようなこともあるかと思います。どちらかというとお出かけのきっかけの一つとして扱っていきたいと考えています。どこで配布するかという話もありましたけど、やはり市役所に来てもらうのもなかなか難しいし、正直、車で来られる方が多いかと思います。やはりバス、タクシー、鉄道を使っていただいでこそだと思っていますので、そういったものを利用していただいたその先にチェックポイントを設けるようなことは工夫していきたいと考えています。</p>
(会長)	<p>はい。ありがとうございます。商業施設と連携するというのは、豊田市が高齢者パスを出しているが、豊田生協のメグリアと連携して買い物券がもらえるなどの事業をやっている。パスを発行してそこで受け取るということをする、もらえるという仕組み。大型の商業施設ではインフォメーションセンターみたいなところで対応してもらえるようなことがあれば。意見で言われたとおり商業施設でお願いしてそれでお客さんが来てくれるわけですから、うまく連携できればいいと思います。</p>

(委員)	先程から高齢者に対する配慮をいただきありがとうございます。その他にございますバスの乗り方教室、出前講座ということで、私ども高齢者ということでもどんどん足が奪われている。免許の返納や乗り合いで会場へ行くということもなかなか難しくなってきました。自転車もなかなか難しい。ミニバスは高齢者が使う公共交通では一番良いのかなと思います。老人クラブも月に1回、市老連教室を開催しております。50~60人集まりまして、いろいろなテーマで行うのですが、その中で前座でも良いのですが、少しの時間でも出前講座で来ていただいてミニバスのPRをしていただければ、乗り方含めていいのかなと思います。日にちもありますのでそれらを考慮して来ていただければ、PRになるのでよろしくをお願いします。
(会長)	ありがとうございます。具体的な提案でありますがいかがでしょうか。
(事務局)	ありがとうございます。市老連様には以前にも当課で作成しましたモデルコースを実際に利用していただいた経緯もございます。積極的に講座等の希望がありましたら行かせていただきますのでよろしくお願いします。
(委員)	前に説明があったかもしれませんが、バス車両購入は新型車両例えばEV車とか、だったりするのですか。
(事務局)	今回は既存のものと同じ内燃機関のものです。通常の車両となり特にEVであったりではありません。
(委員)	先日、知立駅を歩いていたらEVバスが止まっていたので期待をしていたのですが、例えばEVだと乗り心地も静かで振動も少なくて乗り物酔いとかも今までより減るのかなと、こういうのがあればPRに使えるのかなと思いましたので。
(委員)	EVバスは知立の営業所に2月の末に納車されまして、ポンチョ型のミニバスで使っているサイズのもので1両納車されました。弊社の目的としまして、自治体もいきなりEVバスを入れて果たしてどうなのかわからないと思うので、本当に使えるのか乗り心地はどうか弊社としましてはイベントとかまずはミニバスのお試しで使っていただいて、今後の導入に向けて、ミニバスも住宅街を走りますので、EVバスの特性を自治体、住民の方に感じていただいて導入に進んでいけたらと思っています。
(会長)	委員が見られた車両は名鉄バス様のEVバス車両ということですね。ミニバスの路線に代車で入れていただくなどということですか。
(委員)	はい。もちろん今後お話をさせていただく中ではそういったことも一つの方法かなと思います。一般路線を走るようになってきますので、知立市で話をいただければまた協議していきたいと思います。
(会長)	ほかにいかがでしょうか。
(委員)	今の話に関連して、ひとつ教えていただきたいのですが、今回バスの購入が令和6年度の計画に入っていますが、こういった基準で購入、更新を行っていくのか教えていただきたいです。私の知っている限りでは他の自治体は契約が切れるタイミングで、入札のタイミングで更新するところが多いですけど、契約中に更新するのはこういった考えなのか教えていただきたいと思います。もう一点、料金の種別調査の予定が入っているのですが、今までも決まっていたのかもしれませんが、法令が変わった関係でほかの自治体では運賃協議会というものを設置するというので、協議会の定款、規約などを見直すというのをやって、それを公共交通会議の中で協議事項として承認をもらうということをやっている

	のですが、知立市はどうなっているのか教えていただきたい。
(会長)	はい。ありがとうございます。では事務局お願いいたします。
(事務局)	ミニバスの買い替え基準ですが、内部的な判断としては、10年で50万キロ、あとタイミングにもよりますがそれ以前になることもあります。市の財務課と協議して予算の付く年度で買い替えていくという形になります。先ほど出ました運賃協議会の話ですが、これについては知立市としても大きな課題と考えていまして法令上の枠組みが少し変わってきますので、どういうやり方が知立市に相応しいのか、来年度中に検討して結果を出していきたいと思えます。
(委員)	すぐに設置しなくても問題は無いということでしょうか。
(事務局)	そうですね、10月に改正になったかと思えますけど、猶予期間である次年度末までに対応することを考えています。
(委員)	先程の件でバスは知立市の持ち物ということでしょうか。
(事務局)	はい。そうです。
(会長)	はい。ありがとうございます。今の件に関して何かありますか。運賃協議会の話ですが。
(委員)	前回までは運賃協議会とか議題に触れていないということでもよかったですかね。令和5年10月に道路運送法が改正され、改正された内容が今まで地域公共交通会議において、コミュニティバスの運賃に関する協議が、例えば100円を200円にしようとかは公共交通会議の場で協議できたのですが、この会議で協議することはカルテルにあたるのではないかと、複数の交通事業者がいる中で料金を決めるということがよろしくないのではないかと、疑いがあったということで切り離して協議会を設けましょうということで改正がありました。運賃に関しては今後変更の手続きをする際は、この会議とは別の協議会を設けて協議しなければならないことになりましたので、知立市はまだ運賃協議会を設けていないのですぐには運賃の変更ができないということになります。その点だけご注意いただければと思います。
(会長)	はい。ありがとうございます。法令上そうなっているということで、この件に関してはいろいろなところで、コミュニティバスの運賃はこの会議で決めてもカルテルには当たらないだろうという意見の先生方もお見えになりますが、国がそのように決めたということで、別の会議で、事業者が複数入ってはいけないということで、別の協議会を設けて運賃は決めていきましょうということですね。今後対応していくということをお願いいたします。
(委員)	先程の販促物の作成と配布のところ、スタンプカードを作成して集めてもらえるということですが、協会の方でも利用促進に向けて若干のノベルティを作っていますので、通年やるというとなかなかですけど、期間を限ってやるケースであれば、大したものはありませんが、紙を1枚出していただければ無償でお渡しいたしますけど、基本的には取りに来ていただくか、送料着払いで送らせてもらうか、ボールペンですとか、来年度は小さい巾着袋ですとか、ノートとかいろいろありますので、そういうところは利用促進のため活用していただければと思い紹介させていただきます。
(会長)	はい。ありがとうございます。バス協会さんはいろいろな販促物をお持ちですので、ぜひ活用していただいて、知立市民がバスに乗っていろいろ貰えると嬉しいことだと思います。

	<p>それではただ今の令和6年度地域交通事業スケジュールについて、皆さんで協議して決まったということにしないといけないのですが、今いろいろな意見をいただきました。この表に入っているものに対して、細かい具体的ないろいろ提案がありましたので、それを事務局で検討していただいて、来年度やれることはやっていただきたいということで、この事業の内容をご承認いただけるかどうかご審議いただきたいと思います。明確に賛成することを表明していただくために挙手していただきたいと思います。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。</p>
(委員)	(全員挙手)
(会長)	<p>ありがとうございます。挙手全員ですので、スケジュールで具体的なところは少し検討していただきたいと思います。</p> <p>では協議事項の2点目、知立市公共交通網形成計画への追記(案)について、資料4-1、4-2について説明をお願いします。</p>
(事務局)	【資料4-1・4-2に基づき説明】
(会長)	<p>はい。ありがとうございます。ただいまご説明いただきました車両購入にあたって、国の補助をいただくということで、補助金をいただくからにはきちんと計画の中に明記されていないといけないため、それを追記するということです。何かご意見、ご質問はよろしいでしょうか。</p>
(委員)	<p>実態に合わせた形で明記いただくということで問題ないかと思います。一点だけ補助金の関係で来年度になりますが、幹線系統補助を維持していきます。ということをして来年度の知立市の公共交通会議で審議していただく、先ほどのスケジュールですと5月になるかと思いますが幹線補助を活用して行きますよということを話していただくということだけ理解いただきたいと思います。</p>
(会長)	はい。ありがとうございます。
(委員)	<p>コースのこともよろしいですか。三河知立駅が新しくできたが、ミニバスは止まらないでしょうかという意見がありましたが、ミニバスは通りませんよね。</p>
(事務局)	<p>新しい三河知立駅のバス停の話が出ましたのでお話しさせていただきます。議会からも新しい駅ができたのでバスが乗り入れるのが通常ではないかと話をいただいています。現在考えているのは実際に駅ができて降りられる方がどこへ向かわれるのか、バスを利用してどこに向きたいのかというニーズ調査を、3カ月後くらいには利用客が固定してくるというイメージがありまして、その頃に降りてくる方に直接聞いたり、周辺住民の方にも聞いたり、周辺住民の範囲については検討中で不確定ではありますが。そこからバスに乗ってどこへ向かうのか。知立駅や三河八橋駅であれば電車の方が早いですので、そこからバスに乗ってどこへ向かうかのニーズが掘り起こされないとなかなかすぐにバス停を持ていきませんというのは回答できないところです。</p>
(委員)	<p>現在のファミリーマート付近のバス停より三河知立駅付近の方が、便が良い方からお話がありましたので。</p>
(事務局)	<p>実際にバスのルートを周辺の道路環境からすると、コースをどうしてもかなり大きく変更しないとバス停設置することができないと算段しており、そうなるとダイヤまで変更しないといけない。新たな駅に寄るとなると、それで例えば5分はかかるとすると、ミニバスは11便程度あり、1日1時間くらい変わってくることになり、だいたい1時間で一回り</p>

	<p>するようになっていることから、バス停が一つ増えると便数にも影響が出てくることもあります。いろいろなところに影響が出ますので、なかなかすぐにはバス停設置することができないのが現状であります。</p>
(会長)	<p>はい。ありがとうございます。ニーズをいろいろ把握していくということが大事でしょうし、コストがかかっていくこともあります。一人の方だけの意見ではなくて、地域の自治会の意見として、これくらいの人に乗るということを行政に伝えて路線を変えていただくというやり方をしていくべきかと思います。</p> <p>議題に戻りたいと思います。公共交通網形成計画への追記についてご審議いただきたいと思います。それでは追記案のとおりで賛成の方は挙手をお願いします。</p>
(委員)	(全員挙手)
(会長)	<p>ありがとうございます。挙手全員で「知立市地域公共交通網形成計画への追記(案)について」議案どおり承認させていただきます。</p> <p>議題としては以上となります。市民の方も活発に意見をいただけて、とても良い会議となったと思います。それでは進行を事務局にお返しします。</p>
5. その他	
(司会)	<p>多くのご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは最後の5その他に入ります。委員の皆さんからご意見・ご質問ありましたらお願いします。</p>
(委員)	【「CentX」についての説明】
(司会)	<p>今の説明について何かご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>この機会ですので聞いておきたいと言うことがあればどうでしょうか。</p>
(委員)	<p>情報検索をする際にその度に広告のようなお知らせが掲示されてしまうのをなくしてほしいです。</p>
(司会)	最後に事務局より1件ご報告させていただきます。
(事務局)	【連絡事項について説明】
(司会)	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中ありがとうございました。</p>
6. 閉会	